

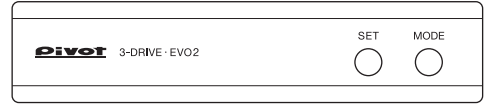
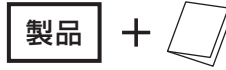
取扱説明書 品番：3DE2

スロットルコントローラー

3-DRIVE EVO2

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

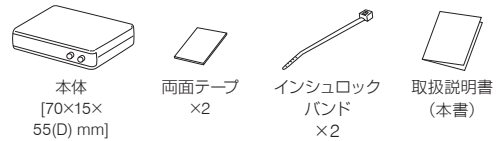
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

ご使用のまえに・内容物	1
各部の名称	1
特長	2
手順1 配線接続方法	3
手順2 製品の固定	3
手順3 初期設定（アクセル開度設定）	4
操作方法	5
表示の種類	6
故障かな？と思ったら	7

内容物をご確認ください



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒4ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要です。作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、ノーマルモードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

各部の名称

1 表示部

- 各モード表示
- アクセル開度表示（5～100%）
- 各設定表示



2 SETスイッチ

- 各モードの
変化率切り換え
- 初期設定

3 MODEスイッチ

- 各モード切り換え

表示部の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはパワースイッチOFFから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続
の方法製品の
固定初期設定
の注意

操作方法

お困りの
ときは

特長

より薄くスッキリ装着できるスロコン

本製品は薄型形状で装着後の出っ張りが少なく設置場所の自由度も拡大すると共に、ワンボディーで軽量なためお好みの場所に付属の両面テープで簡単に設置できるスロットルコントローラーです。

アクセルレスポンスを自在調整

アクセルの踏み込み量によるエンジン出力を調整し走行状況やお好みに応じたレスポンス調整が可能。

18段階の幅広い調整

アクセル踏み込み量の全域を調整する7段階のパワーモード、低中域を調整する5段階のレスポンスモード、レスポンスを下げECO運転に効果的な5段階のECOモードの18段階でクルマやお好みに応じた調整。

アクセル開度モニター

アクセル開度を5～100%まで1%単位に高精度表示。

電源配線不要のカプラーオン

低電流回路により12V配線は不要のアクセルにカプラーオン装着。

他のOBD製品も使用可能

OBDは使用しないため他のOBD製品も使用できます。

メモリー機能

エンジン始動時の各設定値は停止時の状態となります。

衝突軽減システム車などにも対応可能

衝突軽減やオートブレーキホールドなど近年のシステムにも対応可能です。

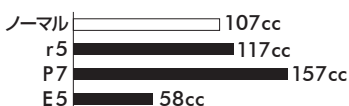
純正状態復帰

万一の製品不具合時は純正状態となる安全システム搭載。

加速時間比較

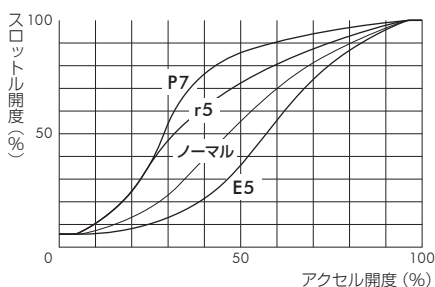


燃料消費量比較

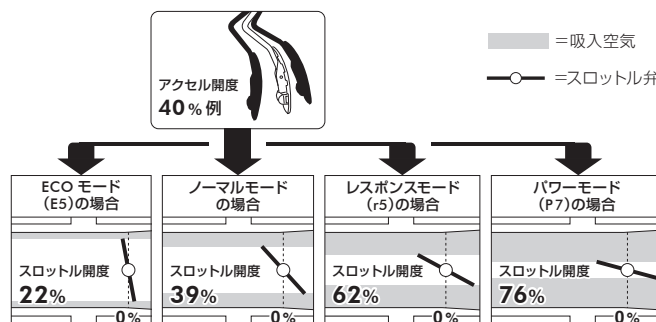


r5=レスポンスモード最大 P7=パワーモード最大 E5=ECOモード最大
車種=ホンダ ステップワゴン (RG1) / 距離=0 ~ 400m / アクセル開度30%固定

スロットル開度変化



P7=パワーモード最大
r5=レスポンスモード最大
E5=ECOモード最大



※パワーモードは7段階、ECOモード、レスポンスモードは5段階の調整が可能です。
※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

手順 1

配線接続方法

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続方法

製品の固定

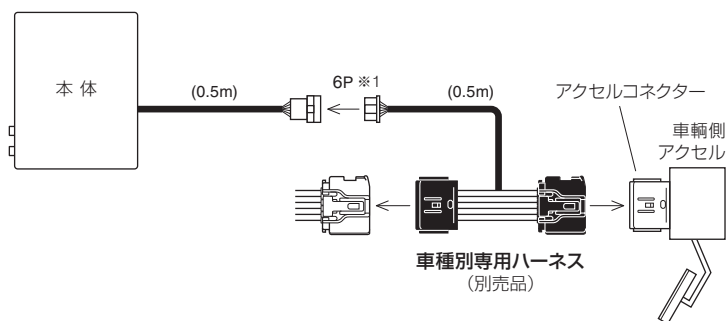
初期設定

操作方法

お困りの
ときは

基本配線

必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。



※1 ケーブルを延長する場合は、別売の延長ケーブル (THC-EC) を使用してください。

※2 各コネクタ差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

※3 アクセルコネクタへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を参照してください。

⚠ 車輻側 アクセルコネクタを抜く時の注意

チェックランプ点灯防止のため、アクセルコネクタの取り外しはPレンジにしてパワースイッチOFF後、ドアを開けた状態で15分以上経過してから行ってください。



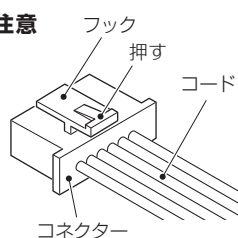
チェックランプが点灯した場合の消灯方法 ⇒ 8 ページ

⚠ 各コネクタ脱着時の注意

装着時
フックの向きを合わせてコネクタを持って差し込む

抜く時
フックを押しながらコネクタを持って引き抜く

※ 抜く時コードは引っ張らない



手順 2

製品の固定

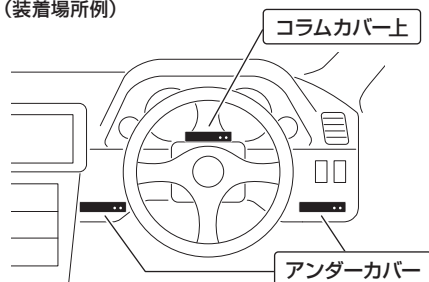


誤作動防止のため磁石を使ったスマホ用等の固定部品は使用しないでください。



コードは鉄板やネジ等で被ふくが傷つきショートしないよう束ねて処理してください。

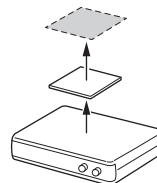
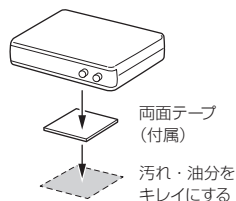
(装着場所例)



(装着方法) 本体が落下しないように確実に両面テープで固定してください。

コラムカバー上に装着する場合

アンダーカバーに装着する場合



※ 貼り換えなどで両面テープの接着力が下がった時は市販品を使用してください。

手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



初期
設定

違うクルマに装着したとき



初期
設定

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線 (コネクター装着) 後に行ってください。
2. 設定は **パワースイッチ ON**・**エンジンを始動しない**・ギヤ位置 **P** または **N** で行ってください。
パーキング ニュートラル

【設定方法】

操作手順	本体表示部
1 パワースイッチ ON にする (エンジンは始動しない) ブレーキ踏まず 2 回押す (1 回で ON になる車種あり)	- - (ノーマル) 表示が - - 以外の場合は、 MODE スイッチを押し、 - - にしてください。
2 SET スイッチを長押しし 表示を 0 にする 0 になるまで 長押しする	 cR 点滅表示後、 5 ~ 0 カウントダウン

□ 内に表示する数字は車種により異なります。

3 表示 0 で SET スイッチはなす はなす	L. □
4 アクセルを踏まない (アクセル 0% 状態にする) 	L. □
5 SET スイッチ押す 0% 状態 を設定	H. □
6 アクセルを 奥いっぱいまで踏み込む (アクセル 100% 状態にする) 	H. □

操作手順	本体表示部
7 アクセル 100% 状態で SET スイッチ押す 100% 状態 を設定	SE (セット) ↓ 00 (100)
8 表示が 00 になったら アクセルをはなす 	00 (100) ↓ - - (ノーマル)
9 設定完了 他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。 設定後にバッテリーや配線を外した場合の、 初期設定は不要です。	

設定の確認 ※表示が違う場合は再度 2 から行ってください。

踏まない アクセルを 0% 		- - (ノーマル)
踏み込む アクセルを 100% 		00 (100)

7 で SE
表示になる場合

SE 表示後、**4** の表示 (L, I など) に
戻る場合はアクセル開度設定が確実
にできていません。もう一度 **4** から
設定をやり直してください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

必ず
行って
ください。

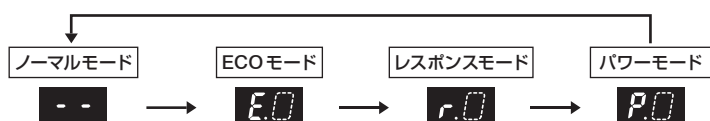
操作
方法

お困り
の
ときは

操作方法

モード切り換え

MODEスイッチ
押すごとに切り換わり



変化率の切り換え

ECOモード

E.0 表示中

SETスイッチ
押すごとに切り換わり



レスポンスモード

r.0 表示中

SETスイッチ
押すごとに切り換わり



パワーモード

P.0 表示中

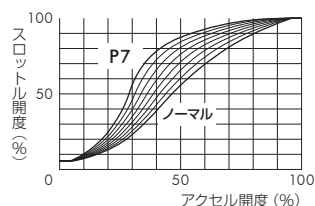
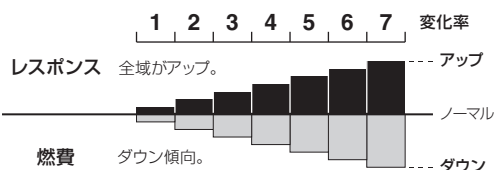
SETスイッチ
押すごとに切り換わり



各モードの特徴

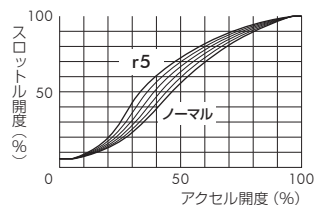
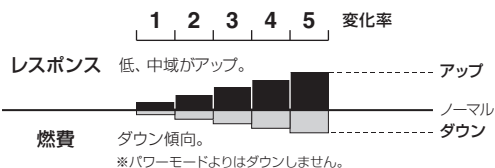
パワーモード

サーキット
スポーツ



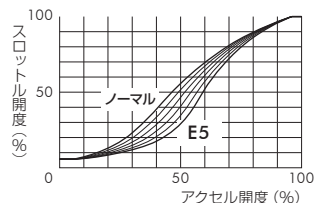
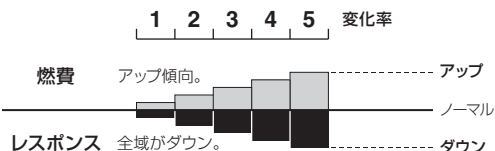
レスポンスモード

サーキット スポーツ
ワイヤー特性に近い



ECOモード

ECO運転 市街走行
渋滞走行 滑りやすい路面



- ・始動時のモードは、前回のモードとなります。
- ・モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
⚠

操作
方法

お困りの
ときは

アクセル開度モニター アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [5~100%まで1%単位]

- アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
- 5%~100%まで1%単位で表示。(100%のときの画面表示は00.)

アクセル開度
(出力側)
23%時



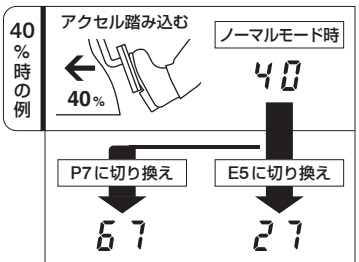
用途 1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15~25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。



用途 3 制御状態のチェック

パワースイッチ ON (エンジン停止) 状態でノーマルモードでアクセルを40%まで踏み込み、モードをP7にすると表示は67 (出力67%) となり、E5では表示は27 (出力27%) となります。
※表示は多少異なる場合があります。



用途 2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

表示の種類

使用中の表示

表示	説明
P.1 ~ P.7	パワーモード (数字が大きい = レスポンスが高い)
r.1 ~ r.5	レスポンスモード (数字が大きい = レスポンスが高い)
E.1 ~ E.5	ECOモード (数字が大きい = レスポンスが低い)
- -	ノーマル (純正状態)
32 (例: 32%)	アクセル開度表示
00	アクセル開度表示 (100%)

設定中の表示

表示	説明
cR	初期設定モード
L□	アクセルを踏まない位置
H□	アクセルを奥まで踏んだ位置
SE	入力完了

故障かな？と思ったら

基本動作と車輛関係

症 状	原 因	対 策
パワースイッチ ON で表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	6Pコネクター の接続不良。	再度ご確認ください。
	専用ハーネス の接続不良。	
	専用ハーネス の品番間違い。	
チェックランプが点灯した。 	「パワースイッチ ON」または「パワースイッチ OFF 後15分以内」に アクセルコネクター または 専用ハーネス を抜いた。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書8ページ)
	「初期設定」が行われていない。	「初期設定」(⇒ 本書4ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書8ページ)
	ノーマルモード以外で取り外した製品を別のクルマに接続した。	ノーマルモードに戻してから「初期設定」(⇒ 本書4ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書8ページ)
初期設定中に Er 表示になる。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書4ページ)
パワースイッチを OFF にしても表示が点灯している。	本製品はクルマの ECU 電源に連動しています。そのため、車種によってはパワースイッチを OFF にしてから表示が消えるまで最長 15 分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症 状	原 因	対 策
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書4ページ)
モードが「--」(ノーマル) 表示に切り換わる。		
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにパワースイッチを OFF にしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2秒以上経ってからパワースイッチを OFF にしてください。

ご使用の
まえに

製品
の特
長

配
線
接
続
方
法

製品
の
固
定

！
設
初
定
期

操
作
方
法

お困りの
ときは

⚠ 警告

事故や人体へ危険を及ぼす可能性があります。

- 誤発進防止上、各作業中はエンジンを切りギヤをニュートラルにする。
- 排気ガス中毒防止上、換気の悪い場所ではエンジンをかけない。
- ショートによる火災防止上、各電線の被覆は破れないようにする。
- 交通事故防止上、運転や操作に支障のある場所に製品は装着しない。
- わき見運転防止上、製品操作や表示確認は短時間でを行う。

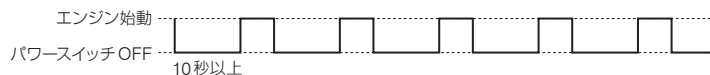
⚠ 注意

車輛や製品故障、怪我の可能性あります。

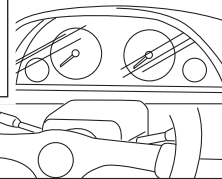
- 本製品装着には専門知識が必要です。
- 故障防止上、製品改造は行わない。
- 間違った使用方法や製品故障による、事故、車輛故障、製品故障など一切のトラブルに弊社は責任を負いません。
- エンジンチェックランプが点灯した場合は製品使用を中止する。

チェックランプ消灯方法

- ① パワースイッチを10秒以上OFF後、エンジン始動する操作を5回以上繰り返す。



- ② ①で消灯しない場合は、バッテリーの＋端子を約10分外し元に戻す。
- ③ ①②で消灯しない場合は、カーディーラーなどで消灯作業を行う。



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれています。

※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。

※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。